

災害時の豆知識 ～運転中に災害が起きたら～

「車を守る」より「命を守る」。まずは落ち着いて安全を確保しましょう。

1 地震

- ① 急ブレーキを避け、ゆっくり減速
- ② 周囲を確認して道路左側へ停車
- ③ 揺れが収まるまで車内で待つ

2 大雨・冠水

- ① アンダーパス・川・海岸沿いを避ける
- ② 冠水した道路には入らない
- ③ 水位が上がる前に早めに避難

3 津波

強い揺れ・長い揺れを感じたら、または津波警報等を知ったら、車に乗り続けず、海岸から離れて可能な限り高い場所へ避難。

車を離れて避難するときのポイント

- ・窓を閉め、ドアをロックせず、キーを車内に残す
- ・貴重品・必要なものを持ち出す
- ・道路上では周囲の安全を確認し、危険な場所から離れる

※災害時は自治体・警察・消防・道路管理者などの指示を優先してください。

災害時の豆知識 ～もし車が動かなくなったら～

無理に動かさず、安全確保と正しい情報収集を優先しましょう。

1

冠水・浸水した車

エンジンが止まったら、無理に再始動しない。
浸水した車は電気系統のトラブルや火災のおそれがあります。
HV・EVはむやみに触らず、救援を要請しましょう。

2

車両火災

すぐに車外へ避難し、119番通報。
一度車外に出たら、絶対に車へ戻らない。
高速道路などでは、まず安全な場所へ避難してから救援を要請します。

3

普段から備える

飲料水・非常食
携帯トイレ・ライト
モバイルバッテリーなど

4

情報を確認

スマートフォン・ラジオ・車載機器などで、
地震・津波・道路情報を確認。

5

早めの避難

「車で逃げる」ことにこだわらず、危険を感じたら徒歩などで安全な場所へ。

豆知識：災害時は「車があるから大丈夫」と考えず、危険が迫る前の早めの避難が大切です。

車内に閉じ込められたときの豆知識

特に水没時は、落ち着いて「シートベルト → 窓 → 脱出」の順で行動

1 まずシートベルトを外す

車が水没すると前方から沈み、車内が傾くことがあります。

慌てずシートベルトを外し、脱出に備えます。

2 窓が開くなら窓から

窓ガラスが水面より高い間に、パワーウィンドウなどで窓を開けて脱出。

車の屋根に上がり、安全な場所へ移動します。

3 ハンマーがあれば

窓やドアが開かない場合は、緊急脱出用ハンマーでサイドガラスを割って脱出。

シートベルトカッター付きならベルト切断にも使えます。

備えておきたい「脱出セット」

緊急脱出用ハンマー
手の届く場所に固定

シートベルトカッター
ハンマーと一体型が便利

ライト
夜間・停電時の確認に

何も装備がないときは？

「無理にガラスを割る」より、状況を見て脱出のチャンスを見逃さない

1 ドア・窓が開かない

水没時は外からの水圧でドアが開かないことがあります。
また、電気系統のトラブルでパワーウィンドウが動かなくなる場合があります。
まず落ち着きましょう。

2 車内に水が入ってきたら

車内と車外の水位差が小さくなると、ドアにかかる水圧も小さくなり、開けやすくなります。
ドアが開きそうになったら、大きく息を吸って一気に脱出します。

「スマホ・車のキー・傘・ヘッドレスト」ではガラスを割れないことも

JAFのテストでは、これらの身近な物ではサイドガラスを割れませんでした。
「何かで叩けば割れる」と考えず、脱出用ハンマーを事前に備えることが大切です。

ポイント：一番の備えは「脱出用ハンマーを、手の届く場所に置いておくこと」です。